

令和8年度さくら・ビブルナム・あじさい・スモークツリー・シンフォリカルポス病害虫防除基準

発行: J A さがえ西村山
さがえ西村山花き振興協会

さくら

防除時期	対象病害虫名	RAC	防除方法【使用時期／使用回数】	注意事項															
発芽前(3月下旬)	カイガラムシ類		スプレー油 50倍 (200ml/10ℓ) [発芽前/-] を散布する。	積雪等により本防除ができなかった園では、融雪後から開花期までにアプロードフロアブル1,000倍 (10ml/10ℓ) [発芽初期/-/6回以内] を散布する。															
開花始期～満開期(4月下旬～5月上旬)	幼果菌核病	1 3	トップジンM水和剤 1,500倍 (6.6g/10ℓ) [発病初期/5回以内] サンリット水和剤 2,000倍 (5g/10ℓ) [展葉始期～展葉期/3回以内]	のいずれかを新梢伸長始期に散布する。 1. ほ場環境の改善を図るため消雪後全面耕うんし、地表面の乾燥をはかり、10a当たり100kgの消石灰を均一に散布する。 2. 発病の多い枝は切り取って埋めるなど処分する。また、除草を徹底するなど過湿とならないよう園地を管理する。															
生育期(5月中旬)	ケムシ類(コスカシバ)	4A	スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 (5g/10ℓ) [発生初期/5回以内] を散布する。	1. ケムシ類の発生が多い場合は、スタークル顆粒水溶剤を使用する。 2. コスカシバの防除には、5月中旬(成虫発生初期)にスカシバコンLを10a当たり40～100本使用する。 3. コスカシバの食入したところからヤニ(虫ふん)が出てるので見つけしだい捕殺する。															
生育期(6月～8月)	ハダニ類	10B	バロックフロアブル 2,000倍 (5ml/10ℓ) [発生初期/1回] を散布する。																
生育期(6月中下旬)	カイガラムシ類幼虫 ケムシ類	16 28	アプロードフロアブル 1,000倍 (10ml/10ℓ) [発生初期/6回以内] フェニックスフロアブル 4,000倍 (2.5ml/10ℓ) [発生初期/2回以内]	を混用散布する。 1. 薬剤防除を行う場合は、下記の歩行幼虫発生時期を目安に実施する。 <table border="1"><thead><tr><th colspan="3">歩行性幼虫発生時期</th></tr><tr><th>対象害虫名</th><th>第1世代</th><th>第2世代</th></tr></thead><tbody><tr><td>ウメシロカイガラムシ</td><td>5月下旬頃</td><td>8月中旬頃</td></tr><tr><td>ナシマルカイガラムシ</td><td>6月中旬頃</td><td>8月中旬頃</td></tr><tr><td>カツラマルカイガラムシ</td><td>7月中旬頃</td><td>9月下旬～10月上旬</td></tr></tbody></table>	歩行性幼虫発生時期			対象害虫名	第1世代	第2世代	ウメシロカイガラムシ	5月下旬頃	8月中旬頃	ナシマルカイガラムシ	6月中旬頃	8月中旬頃	カツラマルカイガラムシ	7月中旬頃	9月下旬～10月上旬
歩行性幼虫発生時期																			
対象害虫名	第1世代	第2世代																	
ウメシロカイガラムシ	5月下旬頃	8月中旬頃																	
ナシマルカイガラムシ	6月中旬頃	8月中旬頃																	
カツラマルカイガラムシ	7月中旬頃	9月下旬～10月上旬																	
生育期(7月)	ケムシ類(コスカシバ)	4A 3A	スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 (5g/10ℓ) [発生初期/5回以内] を散布する。 テルスター水和剤 1,000倍 (10g/10ℓ) [発生初期/6回以内] を散布する。																
生育期(8月中下旬)	ケムシ類	28 3A	フェニックスフロアブル 4,000倍 (2.5ml/10ℓ) [発生初期/2回以内] トレボン乳剤 4,000倍 (2.5ml/10ℓ) [幼虫発生期/6回以内]	のいずれかを散布する。 特にカツラマルカイガラムシは徹底して防除を行う。 2. 幼虫が群れをなしている時期を逃さず捕殺する。 3. アメリカシロヒトリ、モンクロシャチホコの薬剤防除をおこなう場合は、6月上旬と8月上旬を目安にする。															
周年	てんぐ巣病	1	病枝切除後、切り口にトップジンMペースト原液 [病枝切除後/5回以内] を塗布する。	切り取った病患部は適切に処理する。															

◎野その被害が多くなっているので駆除を徹底する。

除草剤使用基準

	薬剤名	10a当り薬量/散布量	使用時期	使用方法	使用回数	適用雑草	特性
処理剤 茎葉	バスタ液剤	300～500ml/100～150ℓ	雑草生育期	雑草茎葉散布	3回以内	一年生雑草	・作物に飛散しないように注意する。 ・ラウンドアップマックスロード (10a当たり薬量 200～500ml、10a当たり散布量 50～100ℓ) [雑草生育期/4回以内] を使用しても良い。

ビブルナム

防除時期	対象病害虫名	RAC	防除方法【使用時期／使用回数】	注意事項
生育期	アザミウマ類	1B	オルトラン水和剤 1,000倍 (10g/10ℓ) [発生初期/5回以内] を散布する。	
	ハダニ類	10B	バロックフロアブル 2,000倍 (5ml/10ℓ) [発生初期/1回] を散布する。	ビニルを被覆し続けると、ハダニ類の発生を助長するため、原則収穫終了後速やかに外すこと。
	ケムシ類	4A	スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 (5g/10ℓ) [発生初期/5回以内] を散布する。	
	アメリカシロヒトリ	1B	ダイアジン水和剤34(%) 1,500倍 (6.6g/10ℓ) [発生初期/4回以内] を散布する。	
	フラーバラゾウムシ	1B	スマチオン乳剤 1,000倍 (10ml/10ℓ) [-/6回以内] を散布する。	前年発生のあった園地では、芽の動く前から、株元へもていねいに散布する。

あじさい

防除時期	対象病害虫名	RAC	防除方法【使用時期／使用回数】	注意事項
生育期	アザミウマ類	1B	オルトラン水和剤 1,000倍 (10g/10ℓ) [発生初期/5回以内] を散布する。	

スモークツリー

防除時期	対象病害虫名	RAC	防除方法【使用時期／使用回数】	注意事項
生育期	灰色かび病	10.1	ゲッター水和剤 1,000倍 (10g/10ℓ) [感染期～発生初期/5回以内] を散布する。	
	うどんこ病	3 9	トリフミン水和剤 3,000倍 (3.3g/10ℓ) [発病初期/5回以内] フルピカフロアブル 2,000倍 (5ml/10ℓ) [発病初期/5回以内]	のいずれかを散布する。 フルピカフロアブルは灰色かび病にも登録がある。
	アザミウマ類	1B	オルトラン水和剤 1,000倍 (10g/10ℓ) [発生初期/5回以内] を散布する。	
	ケムシ類	4A	スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 (5g/10ℓ) [発生初期/5回以内] を散布する。	

シンフォリカルポス

防除時期	対象病害虫名	RAC	防除方法【使用時期／使用回数】	注意事項
生育期	アザミウマ類	1B	オルトラン水和剤 1,000倍 (10g/10ℓ) [発生初期/5回以内] を散布する。	
	アブラムシ類	1B 3A	スマチオン乳剤 1,000倍 (10ml/10ℓ) [-/6回以内] を散布する。 アディオン乳剤 8,000倍 (1.25ml/10ℓ) [発生初期/6回以内] を散布する。	
	カイガラムシ類幼虫	16	アプロードフロアブル 1,000倍 (10ml/10ℓ) [発生初期/6回以内] を散布する。	
	アメリカシロヒトリ	1B	ダイアジン水和剤34(%) 1,500倍 (6.6g/10ℓ) [発生初期/4回以内] を散布する。	
	ハダニ類	10B	バロックフロアブル 2,000倍 (5ml/10ℓ) [発生初期/1回] を散布する。	